

住んでみたら？住んでみたよ



移住コーディネーターが町内で暮らす移住者に
町の魅力や暮らし方をインタビュー！

今回、答えてくれる方は **松本 伸一さん**(中ノ沢区)



Q こちらの暮らしは？

前の仕事は2年前に辞め、昨年1年間は農業大学校に通い、新潟市と阿賀町を行き来しながら米作りをしていました。今年から家族そろって中ノ沢区で暮らしています。

小学校に通う息子は帰宅すると私の仕事の手伝いをしてくれます。息子にとっては遊びの延長のつもりかもしれませんが、家族で過ごす時間が増えましたし、子育てにはとてもいい環境だと思っています。

もちろん危険な生き物にも遭遇しますが、山菜が豊富だったり、自然豊かな土地での暮らしに満足しています。

Q 町民の方に一言

まず、移住した際、集落の方が集まってくださり、挨拶する機会をただけで本当にありがたかったです。皆さんに歓迎してもらえたおかげでスムーズに移住することができました。

移住前までは人も仕事も多い新潟市にいたので、自分は社会の歯車の1つに過ぎないと思っていました。でも、阿賀町に来てからは一人一人の存在がとても大切で、町民全員が主役のような地域だと感じています。

こちらに来て本当に良かったです。皆さんよろしく願います。



インタビュー：移住コーディネーター 増川 宏実

【問い合わせ先】まちづくり観光課 定住促進係 ☎92-4766

11月21日
(月)

いじめ撲滅！ 超耕21ガッター来校



いじめ見逃しゼロキャラバンの活動の一環として、新潟県で活躍するオリジナル・ヒーローの超耕21ガッターが上川小学校に来校しました。

ガッターは児童たちに、つらいことや悩んでいることがあれば相談すること等を伝え、テーマソングを歌う石内 裕之さんと一緒に歌と踊りによって笑顔を届けました。授業は大盛り上がりを見せ、児童からは「お米やみんなの笑顔を守るガッターがすごいと思いました。これからは、ガッターみたいに困っている人の相談に乗ったりして助けたいです。」といった感想が述べられました。

11月27日
(日)

第14回 上川そば祭り 打ちたてのそばに舌鼓



上川体育館において地元上川産のそばを楽しむ「第14回上川そば祭り」が行われました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、3年ぶりの開催となりましたが、町内の方をはじめ県内外から約500の方が来場し、上川産そば粉を100%使用した打ちたての新そばを楽しみました。

会場では、御神楽太鼓「都鼓浪会」による太鼓演奏をはじめ、地元野菜や、どぶろく、生そば、木工などの販売や展示も行われました。また、当日は新潟大学ダブルホームのRホーム（七名地区）の学生が活動の一環として会場を手伝いました。